

おでいやきれいになった水はどうなるのだろう？

下水をきれいにすると中で出たどろ（おでい）を焼いて灰をつくり、セメントの原料などに有効利用して私たちの生活に役立てられます。

どろ（おでい）



灰



どろを焼いて軽くし、灰をつくります。

下水をきれいにした水は川や海に戻しますが、一部はもっときれいにした再生水として、もう一度私たちの生活の中で使われます。

流入水



ちんでん下水



処理水



再生水



P7、8とあわせて見てみましょう。

下の写真の中では、それぞれ下水をきれいにすると中で出たどろ（おでい）や再生水を使っています。



ゆりかもめ

再生水が「ゆりかもめ」の洗車に利用されている。



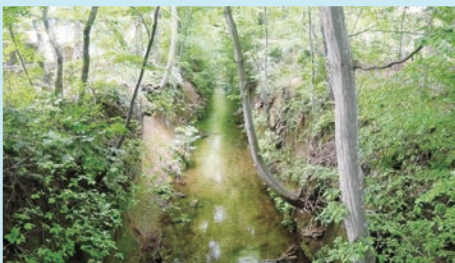
トイレ

再生水が、東京都庁舎をはじめ多くのオフィスビルなどのトイレ洗じょう用水として利用されている。



公園のせせらぎ

再生水が、公園の池の水として利用され、地域の人々のいこいの場になっている。



川

水の量が減った川に再生水を流すことで、川の流れを復活させている。



打ち水

再生水を使って打ち水を行い、ヒートアイランド対策に取り組んでいる。



下水道管

おでいを焼いてつくった灰に他の原料を混ぜ、下水道管をつくっている。